

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0006 名古屋市中区葵1-27-32 カイフビル7階

HD ニュース

No.3
2013.03.15

今後の予定／於：事務局会議室

3月21日(木)18:00～ マンション大規模修繕研究会

3月21日(木)18:00～ 研修会

3月28日(木)19:00～ 木造技術研究会

4月12日(金)19:00～ 役員会

4月16日(火)18:00～ 相談委員会

4月16日(火)19:00～ 研修会

東北大震災から2年の節目に思う

理事長 滝井幹夫

被害の凄まじさに「東北大震災」は建築関係者に、一種の無力感さえ与えましたが、あれから早2年が経ちました。

震災以後、各地で防災に関する講演会・シンポジウムが開催され、こうした場で防災の基本理念は「自助7割」「共助2割」「公助1割」としばしば紹介されています。

名古屋市の木造住宅の耐震化は過去5年間で3.8万戸が実施され、今後5年間で6万戸を実施して耐震化率90%を目指しています。

自宅の耐震化など自分の身を自分で守る「自助」は大切ですが、地域で住宅の耐震化促進活動に取り組んだ経験から懸念を感じています。

未だに耐震補強を実施していない住宅所有者の多くは、高齢者、年金生活者、低所得者などの比率が高く、必要性は理解出来ても「手持ち資金の不足や将来への不安から預貯金を今使えない」「余命を考えると踏み切れない」「他人が家に入るのが嫌」「業者を信用出来ない」などと聞かされました。

庶民の懐を温める施策、福祉の充実を国や地方自治体が行い、広義の「公助」が進むことでこそ自助が促進されるのではと思います。

それと並んで全面補強だけでなく、部分補強やシェルター、家具の固定など、専門家のきめ細かな支援が必要で、そこに私たち「ホームドクター」の活躍の場があるのではと思っています。

報告とお願い

マンション大規模修繕研究会委員長 林 孝士

今や建築業界もスクラップ&ビルドからストック重視の時代へと移行しています。

但し、これらの建築ストックの中には、経年劣化、老朽化及び耐震等の安全性に不安を抱えるものも少なくありません。

こういった問題に対し戸建て住宅に限らず、消費者—分譲共同住宅の管理組合様、賃貸共同住宅や一般ビル等のオーナー様—の総合的な支援を行い、業者の不当な業務の被害者とならないように寄与することを目的として、2009年の5月から「マンション大規模修繕研究会」が発足し、約4年が経過しました。

当会はこれまで主に下記の活動を行ってきました。

- 1、修繕工事について、講師を招いての研修会
- 2、HPの案内及び作品掲載

3、参考文献の読み合わせ

4、依頼修繕物件へのプレゼン参加及び長期修繕計画作成等

今後の研究会をより充実させる為にも、研修会のテーマ及び議題につきまして各委員の皆さんから要望を提案して頂きたいと考えます。

又、HPの本研究会の作品掲載も当初のままで更新されていない状況です。

各委員の方の業務物件等も含めて更新掲載したいと考えますから、これについても協力を改めてお願いしたいと思います。

昨今、研究会への出席頂ける方も少なくなってきました。内外に対してより良く・魅力的な研究会にするためにも多くの方々の出席及び意見交換参加を併せてお願いいたします。

本紙バックナンバーは当会のホームページ<http://www.sumaidoctor.or.jp>からご覧いただけます。

先月、8日にHD/設計者の会の皆様と岐阜県白川町まで上棟見学会に参加してきました。上棟見学会の他に、クオーレの里のコテージ及び間伐現場や東濃桜白川市場並びに製品流通関連施設及び道の駅ピアチェーレの見学、林業センターでの意見交換会などもあり、盛りだくさんの充実した見学会でした。

当日は晴れて、ときおり冬らしい雪が舞う寒さ。HD/設計者の会と愛知建築士会の会員合せて21名（あと3名現地で合流）が、集合場所の名古屋駅を貸し切りバスで出発したのが午前8時。途中の高速道路で交通事故による渋滞があったが運良くすぐに解消してほぼ予定通り午前10時すぎ、上棟見学会場に着きました。着いた頃は、骨組み全体の半分程度のできあがりでしたので、すぐ横に実物展示されている災害仮設モデル住宅を見学しました。



間取りは4.5畳が田の字に4つ集まったシンプルなもので、屋根・外壁をガルバリウム、断熱材をウッドファイバー、床壁を地元産の杉の無垢板パネルで作るなど自然素材にこだわった造りとなっています。延べ床面積9坪で基礎を除いて建築費396万円ですから、比較的経済的で、一般住宅にも採用できるのではないのでしょうか。

そのあと、コテージを見てから近くの昼食会場にいきました。食事中に窓外を見ると粉雪が激しく降っていて、さながら雪見酒ならぬ雪見弁当を美味し

くいただきました。午後、モデル住宅の上棟を見届けて、間伐現場へ移動する頃には雪は止みましたが、さすがに山は冷え込んで寒く、まさに身の引き締まる思いで見学しました。間伐する瞬間も印象的で、現場の作業員の方からの説明もあり、森を守っていくことの大切さを肌で感じることができました。



災害仮設モデル住宅の開発に携わっているのは、木づなプロジェクト研究会の皆様なのですが、東濃桜白川市場や製品流通関連施設を見た後の林業センターでの意見交換会では、白川町長をはじめ、地元の皆様の木づなプロジェクトにかける熱き思い、絆を強く感じました。



今回の見学会が実現できたのは、木づなプロジェクト研究会のアドバイザーでもありHD/設計者の会の事務局長の小川さんのおかげです、ありがとうございました。またの企画を楽しみにしております。

■役員会 2/18 19:00～21:00

会費納入状況・事務所移転・コープあいち福祉基金・HP更新について報告。各委員会活動・HDニュース・新会員加入の促進について討議他。

■相談委員会 2/19 18:00～19:00

無料電話相談の相談内容報告、電話当番他。

■技術研修会 2/19 19:00～21:00

「続・高齢者のための住環境整備/段差解消機・階段昇降機」講師：新光産業(株) 平井氏。後半は石井・津島会員の事例紹介。

■木造技術研究会 2/28 19:00～21:00

「木造住宅のための住宅性能表示」読み合わせ。